



近江八幡市宮内町の日牟礼八幡宮で開かれ、近江八幡に春の訪れを告げる国選択無形民俗文化財「近江八幡 織田信長ゆかりの天下の奇祭 左義長まつり」は、安土城下に始まったと伝えられています。城主であった織田信長公自らも踊り出たと伝わるなど、当時から人々の間で親しまれ、活気に満ちた祭りであったことがうかがえます。

信長公亡き後、安土から近江八幡の城下へ移り住んだ人々は、すでに行われて

■ 左義長まつり（近江八幡市）

信長ゆかり 城下に熱気



左義長が一同に並んだ様子＝いずれも近江八幡市宮内町の日牟礼八幡宮で

いた八幡まつりへの参加を願いました。新参者でもあったことや奉火の場所がなかったことなどからかありませんでした。これに代わる形で、安土で行われていた左義長を始めたこと

が、現在に続く左義長まつりの起源とも伝えられています。

人々の思いによって受け継がれ、今日まで守り伝えられてきた近江八幡の左義長まつり。現在は旧城下町

12年前の午（うま）の左義長



の各町から左義長が奉納され、夜空を焦がす炎とともに、八幡城下一帯が熱気に包まれます。

今年は、安土城築城450年の記念の年にあたります。これを記念し、「あづち信長まつり」から総勢約80名の武将隊が左義長に参加します。戦国ロマンあふれる装いで城下町を練り歩き、祭りに一層の華を添えます。

左義長まつりは3月14、15日に開催。左義長の渡御や華やかな武将行列、2日目は左義長同士が激しく



これまでの「しが旅のススメ」はこちら

ぶつかり合う「ケンカ」、夜には左義長の奉火が見どころです。歴史と情緒に彩られた春の近江八幡で、この年ならではの特別なひとときを楽しんでみてはいかがでしょうか。

（近江八幡観光物産協会・白石昌代）

◇ 【アクセス情報】日牟礼八幡宮へはJR近江八幡駅から近江バス「小幡町資料館前」下車。車の場合は、名神高速道路の竜王インターチェンジ（IC）から約20分。左義長まつり当日は、市役所前臨時駐車場から市営小幡観光駐車場までパークアンドバスライドを実施されます。交通規制もあるので、詳細は「近江八幡左義長まつり」のホームページをご覧ください。

しが旅のススメ

